

**(区長答弁)**

**1 八広駅周辺のまちづくりについて**

**(1) 八広駅周辺の現状について**

八広駅周辺は、京成押上線の荒川鉄橋架替えや駅の改修、連続立体交差に伴う側道の整備が完了するとともに、補助第120号線の拡幅工事が進む中、これからも駅周辺の利便性の向上が期待できるまちであると認識しています。

一方で、高架下のさらなる活用や駅出入口へのアクセスなど、課題もあると考えています。

**(2) 八広駅周辺の今後の展望について**

八広地域のまちづくりについては、ご指摘のような経緯がありましたので、今後、地域の合意形成が図られることが重要であると考えています。

八広駅周辺地区については、荒川河川に隣接しているという特性や、近年の生活様式の様式化に伴う都市基盤需要の変化などを踏まえつつ、将来を見据え生活拠点として、都市計画マスタープランに基づき、高架下の活用や補助第120号線沿道のまちづくりを促進し、商業やサービス機能の整備・育成を図る必要があります。

区としては、高架下に商業・サービス機能等を誘導し、沿線周辺ににぎわいと魅力的な土地利用を促し、住商工が共存する街並みづくりを推進するため、今後とも、地域や鉄道事業者をはじめとした、関係者間の調整に努めていきます。

**(3) 八広中央通りの整備計画について**

八広中央通りは、ご指摘のとおり、自転車通行帯などはなく、歩道も狭いため、歩行者や自転車の通行に課題があると認識しています。

区の南北を結ぶ主要な路線の一つですので、今後、歩道のバリアフリー化や自転車通行空間整備など、安全で快適に通行できる道路とするための検討を進めていきます。

**\*本要旨は聞き取りによるもので公式なものではありません。**